



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年11月17日（金）No.28発行
文責：松本 卓也

生活をコントロールする力の大切さ ～toyoいきいきウィーク～

今週、後期中間考査を行いました。子どもたちは、各自で目標を立て、家庭学習や朝自習、toyo 寺子屋（全校学習会）で目標達成に向け、努力を重ねてきました。toyo ノートにも、「今日は寺子屋がありました。勉強がはかどったのでよかったです。」「〇〇さんと〇〇さんに教えてもらいました。」等、仲間と学び合いながら学びに向かっている姿が伺えました。しかし、一つ気になる点が・・・それは、普段の生活では学習習慣が身につけているのか？ということです。学習状況調査（i-check）では、質問①「平日（月～金）、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか？」、質問②「平日（月～金）は、何時ごろ寝ますか？」の各問いに対する回答は以下の通りになりました。



①2時間以上と回答した割合

	R4年4月	R4年12月	R5年4月	傾向
1年			53.9	
2年	64.3	63.7	46.2	△
3年	46.2	55.5	25.0	△

②23時以降と回答した割合

	R4年4月	R4年12月	R5年4月	傾向
1年			69.2	
2年	21.4	54.6	53.9	▼
3年	53.9	66.6	87.5	▼

9月に行った学校評価アンケート（上期）でも、「家庭での学習習慣」の項目は、生徒回答 2.79、保護者回答 2.53 と他の項目に比べて低い結果でした。課題を改善するために、東陽小学校と連携して、「toyo いきいきウィーク（ノーメディアデー+三点固定運動）」に毎月取り組んでいます。

【toyo いきいきウィーク】 ※毎月13日～17日の5日間

- 5日間の①起床時間、②家庭学習開始時間、③就寝時間を計画する。
- 3日間のノーメディアデーで取り組むコースを決める。
（Aコース：メディアを視聴しない、Bコース：1日1時間以内、
Cコース：1日2時間以内）
- 計画を実践する。
- 取り組みを振り返る。

早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来【文部科学省】



10月の結果を「toyo いきいきウィーク通信⑤」でお知らせしましたが、週末と重なりノーメディアデーの達成率は9月よりも低くなりました。また、三点固定運動では就寝時刻を守れなかった人が多かったようです。1日は、誰でも平等に24時間です。特定の時間が増えれば、別の時間を削らなければなりません。成長期にある中学生には、適切な運動、食事、睡眠をとることが重要です。その上で、家庭学習を行い、また、気分転換にゲームや友人とのやりとりも必要でしょう。そこで、自分の状況を客観的に捉え、限られた時間にどのような行動を割り当てるかを決め、改善の必要があれば修正する。そんな「生活をコントロールする力」を身につけてもらいたいと願います。それは、子どもたちがやがて社会人になり、「自律」していくうえで、欠かせない力になると思うからです。【引用：「生活をコントロールする力の大切さ」ベネッセ教育総合研究所 HP】「toyo いきいきウィーク」の取組の振り返りでは、保護者の方からのひとことを記入していただく欄があります。ぜひ、お子様のご家庭での時間の使い方について、アドバイスをお願いいたします。

防犯灯を設置しました ～夜間における安全確保～

5月に行った授業参観・PTA総会の折りに、学校運営協議会員のY様から、「夜間、石匠太鼓の練習で中学校を訪れる際、暗くて入口がわかりづらい」とのご意見をいただきました。本校への入口はカーブ途中にあり、特に東陽町南方面から進行の際は入口を見落としがちです。ましてや夜間になると尚更見えにくくなります。東陽支所にご相談したところ、地域振興課のM様のご尽力により、防犯灯を一基設置することになりました。これで、夜間における安全な通行が確保できます。Y様、M様、ありがとうございました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）